

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	ネゴシエーター	カヴァー	旅行者
	ソラリス					
オプション		年齢	24	性別	女	
覚醒	素体	衝動	飢餓	初期侵食率	30	%
出自	安定した家庭	経験	実験体	邂逅	"仲間"	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	3	1	0			4	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	4	
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
拳銃		-1	-	3		
(射撃)	交渉	4r+3		8		7+8.射撃攻撃.攻+5.装甲値無視.命中時,シーン間,対象のダイス-2個
(射撃)*	交渉	7r+3		9		7+8.射撃攻撃.攻+6.装甲値無視.命中時,シーン間,対象のダイス-3個
(要80%)		0				1+2+3+4.対象のC値-2,ダイス+6D,攻+6,1D10+2回復.範囲選択(2回)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
拳銃					
携帯電話					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
触媒	P	N			
I	P 傾倒	N 不安			
"仲間"	P 執着	N 恐怖			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	10	残り財産P:	4		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
解放の雷	3	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象のC値-1,攻撃力+[LV*2].							
狂戦士	3	5	メジャー	視界	単体	自動	80↑	
効果:	対象のC値-1,ダイス+[LV*2]個.							
癒しの水	1	2	メジャー	視界	-	自動	-	
効果:	対象のHPを[(LV)D+【精神】]点回復.							
ポイズンフォッグ	2	2	メジャー	至近	範囲	-	-	
効果:	射程:至近,射程:範囲(選択)に変更.シナリオLV回.							
紫電の刃	1	3	メジャー	視界	単体	自動	100↑	
効果:	対象は装甲値を無視して攻撃できる.シナリオLV回.							
止まらずの舌	1	3	メジャー	至近	単体	対決	-	
効果:	<意志>対決,質問に答える.シナリオLV回.							
抗いがたき言葉	2	2	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果:	射撃攻撃.命中時,シーン間ダイス-LV個.							
絶対の恐怖	5	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力+LVの射撃攻撃.装甲無視.							
アクセル	2	1	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果:	ラウンド間【行動値】+[LV*2].							
セキュリティカット	★							
効果:								
声なき声	★							
効果:								
効果:								
効果:								

ありふれた一般人であった。
ありふれていた故に、ありふれた様に学生時代はグループを作っていたし、そしてイジメがあったのはおかしな事ではない。
隣の子たちが裏切るのは時間の問題であった。
"仲間"だと思っていたあの子は、次の日には敵になっていた。
よりにもよって、不幸にも、彼女へのイジメは行きすぎたものになっていた。
数週間後、日課の様にズタバコになった彼女はマスターアーツと出会う。

確かにイジメにはあった。
しかし、それでも、彼女は"仲間"を求めた。

製造時、彼女の"仲間"はIのみであった。
Iがどう感じていたかは分からないが、彼女にとってIIは"仲間"であった。
その後、彼女に続くIIIが、IVが…と"仲間"は増えていった。

彼ら/彼女らは存在理由であり、家族であり、掛け替えないものである。
仲間という枠組みが解体されて尚、彼女は、彼ら/彼女らの"仲間"であろうとする。

『"仲間"の最大幸福』。それが彼女の行動指針である。
それは概ね"仲間"という大きな枠組みの為のものであり、これは"個人"という単位が介在する余地のないものである。
この"個人"は、自身だけでなく"仲間"の内の一個体をも含む。
"個人"の幸福が"仲間"へと還元されるのであれば、その限りではない。
また、"最初の仲間"であったIも例外であり、Iが望むのであれば全てに於いて優先順位が書き換わる。